

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,229	t-CO ₂
（温室効果ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1,229

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和3年度		令和6年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
温室効果ガス総排出量	1,280	t-CO ₂	1,261	t-CO ₂	1,222	t-CO ₂	1,200	t-CO ₂	1,229	t-CO ₂
削減率（対基準年度）			1.5	%	4.5	%	6.2	%	4.0	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和3年度		令和6年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
原単位あたりの排出量		kg-CO ₂		kg-CO ₂		kg-CO ₂		kg-CO ₂		kg-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%
原単位あたりのみなし排出量						kg-CO ₂		kg-CO ₂		kg-CO ₂
削減率（対基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

温室効果ガス排出抑制として計画期間3年の全てで達成できている。
 昨年度と比較して削減率が高かったものとして、都市ガスの使用量削減と電気使用量の削減が上げられます。
 電気使用量の削減に関しては、24時間点灯している非常階段のLED化を1年前倒して実施したことが削減につながったと考えられます。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源 空調設備	<ul style="list-style-type: none"> 空調機の外気冷房運転・循環運転など時期にあった省エネ運転の検討をする。 定期的に空調機のフィルターの清掃を行い空調効率の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 空調温度をこまめに調節 空調設備の運転状態を確認し、無駄な運転を改善する。 	継続実施中
省エネルギー・省資源 空調設備	<ul style="list-style-type: none"> 機器更新時は省エネ機器を採用する。 	<ul style="list-style-type: none"> FCU更新を令和4年度までに実施。 	更新実施済
省エネルギー・省資源 照明設備	<ul style="list-style-type: none"> 照明器具の更新ではLED化をすすめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度までに可能な限り照明器具をLED化する。 概算省電力量 (令和4年度 B3F～B1F ▲32.8kWh/年 令和5年度 1F～6F ▲16.2kWh/年 令和6年度 7F～P1F ▲22.3kWh/年 令和7年度 A・B階段 ▲2.2kWh/年) 	令和6年度に令和7年度分を前倒して実施。
省エネルギー・省資源 OA機器	<ul style="list-style-type: none"> コピー機・及びPCの節電機能を利用し、不使用時や離席時に自動的にスリープモードに移行させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して行う。 	継続実施中
省エネルギー・省資源 その他	<ul style="list-style-type: none"> 古いエスカレータを更新する。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度までに実施する。 (令和4年度2台、令和5年度3台 更新予定 概算省電力量 ▲8.2kWh/年) 	更新実施済
省エネルギー・省資源 その他	<ul style="list-style-type: none"> 近い階はエレベータを使用せず階段を利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して行う。 	継続実施中
省エネルギー・省資源 その他	<ul style="list-style-type: none"> 電気はCO₂排出係数の小さい事業者から購入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年に切替購入済み 継続して行う。 	継続実施中
廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の減量をすすめる。 資源ごみの分別を徹底して資源化率を高める。 コピー紙の裏面利用をすすめる 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して行う。 	継続実施中

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目（令和 6 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 3 年度目（令和 6 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・文房具、コピー用紙等の備品はグリーン購入品目を使用している。

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・毎月8日の外出は、公共交通機関を利用に努めている。 ・毎月8日は、ビル内の移動は階段を利用に努めている。 ・毎月8日は、定時退社に努めている。
--